

出向者 派遣者紹介



三重県防災航空隊派遣 小坂 健介

平成十八年四月一日から三重県防災航空隊(鋼管町津市伊勢湾ヘリポート内)に派遣され、早や一年が経とうとしています。

派遣一か月前の事前訓練では、県消防学校の主訓練塔などを使用しての降下基本訓練から始まり、月の半ばには実際のヘリコプターに搭乗して、高さ約百フィート(三十メートル)からの降下訓練を繰り返し実施しました。当初は降下途中に地上との目測距離がしつかりつかめず、恐怖を感じたときもしばしばありました。



ホイストによる降下準備をする小坂隊員

この他にも、各種救助資材の取扱の反復訓練を行い、四月以降の災害に備

えてきました。

さて、防災航空隊は、三重県防災危機管理部防災対策室の防災航空グループに属し、空からの消火・救助活動、緊急救急搬送、他県への災害派遣など広範な業務が、県内消防本部からの派遣隊員によって構成され、近隣で発生する林野火災や山岳救助事案、また都市部への緊急救急搬送、各地域の総合防災訓練など様々な地域へ出動しています。



リベリング降下準備よし！ 降下・・・！

ター運航は、一瞬の気の緩みが重大な事故につながることで、私は搭乗隊員として、運航中は常に緊張感をもっていることが大切だと考えています。そのため、日々の訓練に取り組み技術向上に努め、また日常から体調管理には十分に留意することを心掛けています。それが県民のニーズに応える災害活動などのサービスに直結

この一年を振り返り、痛みを感じたことは、ヘリコプ

ご近所の協力体制が大切! 消火協力に署長感謝状を贈呈

白山署

していくものと信じています。残りの二年余りを全力で頑張り、安全運航に努めてまいります。

二月三日の夕方に、白山町二本木地内の留守の住宅で建物火災が発生しましたが、ご近所に住まれる七人の方々の確・迅速な連携により、被害を最小限に抑え、止められましたその功労に対して、鈴木美昭白山消防署長から感謝状が贈呈されました。

鈴木白山消防署長より感謝状の贈呈を受ける野崎さん親子



おるさんは、近所に火災を初期消火、ひかるさんとか

火災は午後六時十分頃に発生、火元の東隣りの野崎かおるさんが、部屋の窓を閉める際、煙による異臭に気付き、台所で夕食の準備をしていた母の和美さんと姉のひかるさんに知らせました。外へ出ると、隣の浴室付近の炎と煙を確認、和美さんは一九番へ通報、自宅から消火器を持ち出し

外に設置されている消火栓からホースを延長して、野崎さんと協力しながら消火活動を行いました。白山署員が到着した時には、ほとんど鎮火状態であり、浴室と台所の約二十平方メートルを焼く被害にとどまりました。

左から 野崎和美さん、野崎ひかるさん、野崎かおるさん、市瀬知恵さん、市瀬比呂さん、板谷麗久子さん



最小限度に抑えることができた功績は誠に感謝の意を表しました。

津市消費生活センターが開所

平成19年1月4日より

消火器や住宅用火災警報器などの悪質訪問販売を含む「さまざまな悪質商法」や「架空請求詐欺」などの被害に対応します。

ところ 津市役所本庁舎1F 市民交流課内

利用日 平日 9時~12時 13時~16時

(ただし、土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

TEL 059-229-3313